

横須賀市、進む傾斜地対策報告②完成!

三浦半島地域は急傾斜地が多く、近年もがけ崩れが起きています。2024年度に向けた政策・制度要求と提言で『三浦半島地域における崖崩れが近年多発している状況を踏まえ、土砂災害警戒区域・同特別区域の対策工事を国・県と連携し取り組むこと。取り組みにあたっては、民間業者とも連携しIT技術を活用した崩壊予兆を取り入れるなど、住民の安心・安全につなげる予防措置にも取り組むこと。』を訴えかけています。

この提案を三浦半島4市1町の自治体は真摯に受け止めて、徐々に対策を進めてくれています。

前回、昨年11月に『横須賀市で進む急傾斜地対策①』を紹介しましたが、この度完成しましたので、再度ご報告します。

工事区間は京急の汐入駅から横須賀中央駅までの間にそびえたつ大きながけ地になっています。横須賀中央駅裏にあります、セントラルホテル駐車場の急傾斜地、過去にもがけ崩れが起きていますが、その最終工事が8月からスタートして、約8か月、本年3月に完了しました。

年々、激甚化する自然災害に向けて、三浦半島地域連合は安心・安全なまちづくり実現に向けて今後も政策・制度要求と提言の充実を図っていきます。

